



はじめの古事記

たけなかよしこ ねぎしたかこ たくましょてん
竹中淑子・根岸貴子作 スズキコージ絵 徳間書店

むかしむかし、大むかし。天の高天の原に男神イザナキと女神イザナミがあらわれ、日本の島と神がみをうみました。ところが、イザナミは火の神をうんだとき、からだを火にやかれて死んでしまいます。悲しむイザナキが死者の国へあいに行くと、そこには、かわりはたてイザナミがいました。（「イザナキとイザナミ」）

いまから千三百年前に、古事記の一部としてまとめられた日本の神がみの物語から、よく知られているおもしろいおはなし十三話を、やさしい語り口で紹介しています。

